

実践と理論の両面から プレス・金型設計の 真の技術者を育成

山陽プレス工業(株)

今年で創業 65 周年を迎える山陽プレス工業(株)は、精密プレス金型設計・製作から、自動車部品やデジタルカメラなどの外装ケースのプレス加工まで手がけてきた(写真 1)。特に近年は、地球環境に配慮し、潤滑油を使用しないドライプレス加工技術の研究開発を積極的に進めている(写真 2)。金型に DLC 被膜(ダイヤモンドライクカーボン)を蒸着し、硬質な被膜をつくることで摩擦を軽減させて加工するドライプレスは、より高度で高精度な金型技術が要求される。

さらに、カードケースやフリスクケースなどオリジナル商品のデザインから加工まで行い、他社にない個性を発揮している。受注製品の量産に留まらず、多方面に広がるプレス加工技術の可能性を示している。

これら幅広い技術を構築できた背景には、会社全体の技術レベルの底上げを図る人材育成への努力がある。「会社は、教育の場と徹し、育まれた人格により社会に貢献することを理念とする」と経営理念に掲げるように、同社は古くから人材育成に力を注いできた。同社の新人技術者の育成か

ら金型技術者の育成、昨年からスタートした社内技術セミナーなど多岐にわたる教育システムについて紹介する。

スキルマップに基づいた プレス現場の新人教育

新入社員は入社後、就業規則や ISO などの 3



写真 1 精密プレス金型



写真 2 ドライプレス加工したカードケース

会社概要

会社名：山陽プレス工業(株)
所在地：〒114-0023 東京都北区滝野川 6-12-4
設立：1947 年
売上高：4 億円
従業員数：30 名
事業内容：精密プレス金型設計・製作、IT 機器・光学機器・自動車・装飾品・建築部品の製造、新素材・フィルムの加工、自社製品の製造販売

